

Crescendo

vol.122

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

メディキット県民文化センター
MEDIKIT ARTS CENTER

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

ホルン座談会 なかなか聞けない「ホルン」の話
トリアールツアター 『改訂の巻「秘密の花園」』

こどもおもな劇場 #1
カンパニーテラシネラ「ロミオとジュリエット」
島田歌穂さんと島健さんに聞きたい! 10の質問



日高剛ホルンリサイタル
「Hornism」



|| 巻頭コラム || 21回目の音楽祭を振り返って

「よりよい音楽を、一人でも多くの方に」というのが、今年の音楽祭で初めて総監督をやるにあたり、音楽監督の徳永二男さんと話し合った考え方でした。前任の青木賢児さんが作り上げてこられた20年の歴史を、次の10年あるいは20年に繋げていく上で、これまで音楽祭を愛し支えてくださったお客様を大切にしながら、その幅をより広げ分厚くしていくことはとても大事なことに思えたからです。

「Oh! My! クラシック(トークコンサート)」「ポップス・オーケストラ in みやざき」「500円コンサートの日」という3つの新しい試みは、かなりの新しいお客様を呼び込み手応えを感じさせてくれました。その波及効果でしょうか、これまでやってきたメインのコンサート5つがチケットの完売かあるいはそれに近いお客様の数になり、何よりも嬉しい結果になりました。

私自身は14のコンサートのうちで、一人の聴衆として感動したのは「アシュケナージ(指揮)× 辻井伸行(ピアノ):ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番」「ズーカーマン:ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番」「歌劇トスカ(全曲)」などでした。500円コンサートの日の「ヴァルディ×タンゴ」も素晴らしく、お値段に関係なくこうした贅沢なコンサートを企画できる音楽祭の底力を感じました。

何よりも心を打たれたのは、エクスペリメンタル・コンサートで徳永二男さんが奏でたバルトークの「無伴奏ヴァイオリンソナタ」でした。言葉ではうまく表現できませんが、出だしから気持ちが引き込まれ、祖国を追われ亡命してこの曲を創ったバルトークの人生や、私が生きてきた20世紀の時代の難しさや今となっては懐かしい時代の風みみたいなものを無意識のうちに感じていたようです。優しく綺麗なだけの音とは違って、徳永さんの演奏は鋭く刺さってきたり、何かしら悲哀をぎりぎりまで抑えた音色で響いてきました。

徳永さんの音楽祭への献身はこれまでも敬服しつつお付き合いしてきましたが、今年は新しい試みを先頭に立って引っ張っていただいたこと、直前に起きた熊本地震の被災者のために日帰りで避難所まで出かけ演奏をさせていただいたことなど、この方とともに音楽祭を進めて行く幸せを強く感じました。今年70才、演奏家活動50周年の徳永さんに心からの感謝の念を禁じ得ません。

さて皆様は、どのコンサートに感動され、どんな感想をお持ちになったでしょうか。トークコンサートで小泉純一郎さんがおっしゃっていましたが、「最初わからなかった音楽が、何回も聴いているうちにいいなと思えるようになってくる」。クラシック門外漢の私は今そのプロセスの入り口あたりで、あせらず一歩ずつ前に進みたいと考えています。その意味では「一人でも多くの方に」というのは私自身をその中の一人として取り組みたい目標です。来年の音楽祭も同じ気持ちで進めたいと考えています。皆様のご理解ご支援を賜れば幸いです。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場理事長 **佐藤寿美**

日高剛ホルンリサイタル「Hornism」特別企画

ホルン座談会 なかなか聞けない「ホルン」の話

日高剛ホルンリサイタル『Hornism』に賛助出演していただく「みやざきほるんの会」の中心メンバーで、ホルンアンサンブル「Defi」の4名に、日高さんのこと、そしてホルンについてたっぷり語っていただきました。

ギネスも認める！ 世界で一番難しい楽器!?

昨年、「みやざきほるんの会」を結成したとお聞きしましたが、どんな方達がメンバーになっているんですか。

益田 県内のオーケストラや吹奏楽をやっているホルン愛好家約20名が所属していて、昨年10月に結成記念のコンサートを行いました。

栂山 いろんな地域の方がいらっしゃるの、なかなか全員集まって練習するというのは難しいんですよ。なので、それぞれが所属しているオーケストラや吹奏楽団のホルンパートでアンサンブルを組んで、発表するというのがコンサートのメインでした。

日高剛さんのことは以前からご存じでしたか。

益田 同じ高校の出身で、部活の先輩後輩というつながりから、ずっと親しくさせていただいています。日高さんは長崎大学を卒業後、ホルンを本格的に学ぶために東京藝術大学に再入学され、そこからプロ奏者になっていらっしゃるの、ホルンがすごく上手というだけではなく、その努力と信念からも伝説の先輩として有名でした。

柳田 日高さんが教えている大学とは違う音大に通っていたんですが、一緒に発表会をしたことがあって、その時に講評をくださったたり、親身にアドバイスをいただいたりしました。

浮島 私が学生の時からのお付き合いです。大学の時の師匠と日高さんがとても親しかったこともあり、当時日高さんが団体の指導などで大分に来られる時は、レッスンをお願いしていました。

皆さんの思う日高さんの凄さとは？

栂山 日高さんって音色も技術も本当に素晴らしくて神様のような人。でもとても謙虚で気さくな方なんです(笑)。

益田 日高さんの音色は、分厚くて荘厳といった印象がありますね。

柳田 ホルンは、オーケストラでは特に上吹き(=高音奏者)と下吹き(=低音奏者)に役割が分かれています。日高さんは、上も下もどちらも演奏されるので凄いなあと感じます。

益田 日高さんが最初に入ったオーケストラでは、低音を中心に吹く「下吹き」だったんです。普通はそのまますと下吹き専門



益田やよい
宮崎大学卒、
みやざきほるんの会事務局

柳田美波
武蔵野音楽大学、
同大学院博士前期課程修了、
宮崎県立芸術劇場音楽アウト
リーチ事業第2期登録アーティスト

栂山夢二
洗足学園大学卒、
みやざきほるんの会代表

浮島小智
大分県立芸術文化短期大学卒、
同大学専攻科修了

になるパターンが多いようですが、NHK交響楽団に入ってから、「上吹き」、そして首席代行とかもされていて、どの音域でもエキスパートなんですよ。

浮島 他の管楽器だと大きさを変えて、例えばサクソであれば、ソプラノサクソやバスサクソみたいに違う音域が出せるけど、ホルンは1種類で約3オクターブの音域を出すので大変なんです。

柳田 ギネスブックにも、「世界で一番難しい金管楽器」として紹介されているんですよ。マウスピースが小さいので、音のコントロールが難しいというのも理由の1つかなと思います。

浮島 あと、気候などの環境や自分のコンディションに左右されやすいです。夏場は音程が高くなりやすいですし、逆に寒い時は低くなりやすいので管を手で温めたり、息をコントロールしたりして演奏します。

どうして、そんな難しい楽器なのにやろうと思ったんですか。

浮島 大概ホルンを吹いている人は、吹奏楽部に入って第1希望のトランペット、第2希望のトロンボーンがダメで、しょうがなくホルンっていうパターンだと思います(笑)。私はそうでした。

益田 私もです(笑)。でもホルンを始めたら、その音色の豊かさにはまりますね。柔らかい音色からキラキラした響きの音まで表現できる楽器です。



栂山 ハーモニーがとても美しいので、ホルンはアンサンブルが楽しいですよ。

今度の日高さんのリサイタルでは、「みやざきほるんの会」の皆さんも出演されますが、意気込みをお願いします。

益田 主役の日高さんの魅力がお客様にさらに伝わるように、演奏者一同心を込めて演奏します。また、ホルンをあまり知らなかった人にも、ホルンの良さを知ってもらい好きになっていただけたら嬉しいです。ホルン愛好者の輪がより一層広がっていく…そんなリサイタルになればと思っています。

栂山 宮崎が誇るホルン奏者の凱旋コンサートです。ぜひこの機会に、日高さんの演奏を聴いていただいて、地元宮崎から一緒に応援していればいいなと思います。

Message

日高 剛(ホルン)

宮崎市出身。長崎大学経済学部を卒業後、東京藝術大学にてホルンを学ぶ。96年よりオランダ・マーストリヒト音楽院に留学。2005年～2013年までNHK交響楽団でホルン奏者を務めた。現在、東京藝術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学非常勤講師。



宮崎の皆様へ

この度、私が生まれ育った「宮崎」で演奏できますこと、とても感謝しております。シューマン、チャイコフスキーは有名な作曲家ですが、おそらく名前も聞いたことがないクーツィールは、私が留学時代すごした「オランダ」のとてもユーモラスな作曲家です。中原達彦さんの作品は、片山博詞さんが製作された「月光のもとで聲を聴く」という彫刻をモチーフにしています。中原さんは『ななつ星in九州』のテーマ曲の作曲者でもあります。片山さんも中原さんも私が大学時代を過ごした「長崎」で知り合いました。後半は、ホルン・アンサンブルの演奏を、ホルンを通して知り合った大好きな仲間達と、宮崎でしか聴けない響き、誠心誠意お届けします。「つながり」が結んでくれたコンサート、是非お楽しみください。

「月光のもとで聲を聴く」(作:片山博詞)



公演情報

日高剛ホルンリサイタル「Hornism」

7月10日(日) 開場13:30 開演14:00

【会場】アイザックスターンホール

【出演】日高剛(ホルン)※宮崎出身 三輪郁(ピアノ) 岡田彩愛(ホルン) みやざきほるんの会(賛助出演)

【曲目】シューマン:アダージョとアレグロ クーツィール:アンダンテ・プリランテ

チャイコフスキー:アンダンテ・カンタービレ ほか

【料金】全席指定 一般2,500円[会員2,200円] U25割1,000円 親子割3,000円

Message



立山ひろみ 演劇ディレクター
 本年度のシーズンテーマは「骨をたしかめる」です。骨。ちょっと、ご自分の骨を意識してみてください。どうですか？腕、足、頭。いろんなところに骨がありますね。いつも私たちが支えてくれている骨。私たちの体の中心。軸です。軸をたしかめる。私たちの軸がしっかり育っているか？意識してみましょ。軸は、どこにあってもいいように思います。ただ「軸がある」ということを認めてあげるだけでも、この後の人生の「見え方」が変わってくるかもしれません。今年たしかめた、「軸」からはじめて、ゆっくりじっくり自分のからだを通して、世界を見つめてみましょう。新たな発見がそこにはきっとあります♪♪
 今年の演劇・ダンスプログラムも、どうぞお楽しみに！！劇場でお待ちしております♪♪

トライアル・シアター 『改訂の巻「秘密の花園」』

気鋭の演出家、振付家、音楽家が宮崎に滞在し、一般参加の出演者らと約1週間の期間で舞台作品をつくりあげる新シリーズ「トライアル・シアター」。シリーズ第一弾として今回上演するのは、60年代から70年代にかけてアンガラ演劇の中心的存在を担った唐十郎の傑作戯曲『改訂の巻「秘密の花園」』です。

改訂の巻「秘密の花園」

1982年に本多劇場(東京)のこけら落とし公演(主演:柄本明、緑魔子)のために唐十郎が執筆。98年に改訂し、劇団唐組の本公演として上演した。——舞台は、日暮里の古アパート。そこに暮らすキャバレーのホステス一葉(いちよ)のところに、アキヨシは毎月の給料を届けている。一葉には夫(大貴)がいるが、二人の関係を容認し、奇妙な三角関係が続いていたが…。

Message



糸井幸之介

劇作家・演出家・音楽家

1977年東京生まれ。東京を拠点に活動するFUKAIPRODUCE羽衣(2004年設立)の全作品で作・演出・音楽・美術を手掛ける。全編の7割ほどを演者が歌って踊る、芝居と音楽を融合した独自の作風を「妙一ジカル」と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残るオリジナル楽曲で高い評価を得ている。第14回公演「耳のトンネル」にて、CoRich舞台芸術まつり12012春グランプリ受賞。2014年より多摩美術大学にて非常勤講師を務める。

僕は思春期の頃、夏より冬が好きでした。冬のストイックで孤独な感じに憧れていました。汗もあまりかかないし、空気も清潔だし、虫も少ないし、一人旅なんかするなら南国より北国だと思っていました。でも大人になり、今は、冬より断然夏が好きです。冬より風邪引かないし、体に優しいのはもちろん、汗もたくさんかきたいし、虫とも仲良くしたいと思うようになりました。大らかな気持ちで南国を一人旅なんかしたいものです。だからこの夏、宮崎で演劇が作れるなんて最高です。それもほんのり南国ムードの漂う、大好きな戯曲『秘密の花園』です。



(左から)糸井幸之介さんと立山演劇ディレクター

オーディションレポート

6月4日(土)に出演者オーディションが宮崎県立芸術劇場の練習室で2回にわけて開催されました。オーディションは、リズムに合わせて参加者同士が互いの「動き」や「声」を真似るなどのワークショップ形式で行われ、会場は終始笑いの絶えない和やかな雰囲気でした。台本の一部(長台詞)を読む場面では、「読むスピード」や「声色」のパターンを糸井さんがいくつか注文し、参加者の個性を引き出していました。今回の出演者に決定したのは、15歳~68歳までの男女16人。

劇場が県民のみなさんと、そして、宮崎で新しい表現に出会いたい方々と一緒に舞台芸術の世界にトライ(挑戦)する試みが、この夏、いよいよ始まります。

合格者50音順



伊藤海 井上大輔 大浦愛 大迫紗佑里
 大塚幸治 大坪成樹 小倉鉄夫 尾崎宇内 片山優花 神水流じん子
 久保田杏海 鈴木正也 平真子 長友裕一 原田千賀子 山口征嘗

ディレクター 立山Dの“ココ”に注目!

優れたテキストと、才能あふれる演出家、県内外からオーディションで選ばれた出演者たち、ココでしか観られない化学変化の結果を目撃して下さい!

公演情報

トライアル・シアター2016 『改訂の巻「秘密の花園」』

8月27日(土)開場18:30 開演19:00 / 28日(日)開場13:30 開演14:00 【会場】イベントホール

【作】唐十郎 【演出】糸井幸之介 【出演】一般参加16名

【料金】全席自由 一般1,500円[会員1,300円] U25割1,000円



過去の公演の様子

こどもおとなも劇場

#1 カンパニーデラシネラ『ロミオとジュリエット』

今夏! 想像を遙かに超えるパフォーマンスで魅了する、カンパニーデラシネラが劇場と小林市にやってきました!! 子どもも大人も「こんなロミジュリ観たことない!」と興奮必至の公演にぜひご期待ください! 今回、公演に先がけ、カンパニーデラシネラを主宰する小野寺修二さんと出演者の藤田桃子さんを講師に迎えた、マイム体験ワークショップを小林市文化会館で開催。その名も「相手をよく見て、真似をする。」さて、どんな体験に出会って何を感じたのか…いざ密着!!

たいけん密着! レポート ~里岡親子(小林市在住)のマイム初体験に密着!~



親子でチャレンジしてきます!!
 さあ! 里岡小愛さん
 さあ! 咲音さん(小学5年生)



9歳から55歳までの男女20名が参加! 身体を動かはしめると、緊張もほぐれ、参加者同士の距離も一気に縮まります。

◀身体の一部を人形のように動かされたり、ゴム人形のようにゆっくり元の位置に戻したり、動きを止めたり…。普段しない動きに戸惑いながらも楽しそう。



▲1対1でマイムを体験。相手の動きを探り合いながら動きを提案していきます。2人の距離感や動きのリズムから、2人の関係性やストーリーが不思議と見えてきました。



▲まるで魚の群れのように? 進む方向を変える度に群れの先頭(リーダー)が交代し、リーダーの動きを真似ます。予想しない動きに小野寺さん「面白い」を連発!



◀▲タイミングを合わせる「せーの!」の掛け声はNGです。相手をよく見て、バランスを取りながら相手に身体の重さを渡していきます。コツをつかむと、片手でもラクラク♪



▲相手に触られた部分を、触られた力と同じ力で押し返していきます。目を閉じて、普段意識しない身体の内側にまで神経を集中!!

たいけん感想

初体験でしたが、パントマイムのコツもちょっとわかって面白かったです。学校の友達ともやってみたいと思いました。
 咲音さん

実は、13年前に小野寺さんが以前活動されていたカンパニー「水と油」のパフォーマンスを観て感動した思い出があり、ぜひ参加したいと思いました。普段の生活では意識していない身体の動きを感じることができてとても面白かったです。一方的に子どもを叱ってしまうこともありますが、相手の動きやリズムを読んで合わせることは、日常でも大切なことかもしれないですね。小林公演も親子で楽しみたいです!!
 小愛さん

Message



小野寺修二

演出家・カンパニーデラシネラ主宰

日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。95年~06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。作品はマイムの動きをベースに台詞を取り入れた独自の演出で、世代を超えた観客層の注目を集めている。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。

はじめまして、小野寺修二です。パントマイムから出発して、演劇の演出をしています。マイムは壁や綱を思い浮かべる人も多いかもしれませんが。僕は、ないものがあるように見せるマイムテクニックではなく、ないのにあると思う観客の想像力に興味があります。ただの箱がバルコニーに見えたら、ただの黒い空間が決闘の広場に見えたら、そこに風を感じる事が出来たら。秘密の暗号のような、見ず知らずの人と共有するたくらみにワクワクします。今回宮崎市と小林市で初めて演出作品を上演させていただきます。初めましての観客と、いろいろなことを共有出来たら、こんな嬉しいことはありません。

公演情報

こどもおとなも劇場#1
 カンパニーデラシネラ『ロミオとジュリエット』

■宮崎公演
 7月9日(土)開場14:30 開演15:00
 【会場】イベントホール
 ■小林公演
 7月10日(日)開場14:30 開演15:00
 【会場】小林市文化会館 小ホール

【原作】ウィリアム・シェイクスピア 【翻訳】松岡和子
 【演出】小野寺修二
 【出演】斎藤悠 崎山莉奈 王下貴司 大庭裕介 藤田桃子 小野寺修二
 【料金】全席自由 一般2,500円[会員2,200円] U25割1,000円
 親子割3,000円 ※4歳から入場できます。

ディレクター 立山Dの“ココ”に注目!
 想像力のつばさを、悠々と羽ばたかせてくれる作品です♪こんな表現もあるんだ!! 新たな発見をお楽しみください☆

大好評につき、第2弾公演を9月19日(月・祝)に開催!

島田歌穂 with 島健ピアノトリオ vol.2

～秋の名曲をあなたに～

昨年9月の第1弾では、ディズニーの映画音楽、ミュージカル、ジャズのナンバーを披露し大好評を得た「島田歌穂with島健ピアノトリオ」が今年も帰ってきます!今回のテーマは「秋」。山口百恵の代表曲「秋桜」をはじめ、「秋」にちなんだ名曲をたっぷりお届けします。広報誌では、各地へのコンサート出演などで多忙を極めるお2人に、前回の公演の感想など「10の質問」に答えていただきました。

島田歌穂さんと島健さんに聞きたい! 10の質問

Q1. 幼いころの夢は何でしたか?

島田▶4歳からバレエを習い始めたので、最初に憧れたのはバレリーナでした。

島健▶小学生の頃から、映画監督になりたくて、自分で8ミリ映画を撮っていました。

Q2. 初めて買ったレコード(CD)は何ですか?

島田▶フィンガー5の「個人授業」だったと思います。

島健▶ベンチャーズ。エレキブームの頃、ベンチャーズにしびれてギターを弾いていました。

Q3. 音楽以外の趣味は何ですか?

島田▶夫の影響で映画鑑賞。あとは、一緒に休みを取れたらニューヨークで思いきり観劇しまくるのが一番のエネルギー源です。

島健▶映画鑑賞。自宅のホームシアターでもサラウンド再生に凝っています。

Q4. 人生で一番影響を受けた曲、もしくはアーティストを教えてください。

島田▶ジーン・ケリー、フレッド・アステア、バーブラ・ストライサンド、エラ・フィッツジェラルド、江利チエミさん…すみません、沢山ありすぎて選べません。(笑)

島健▶ドン・セベスキーがアレンジを手掛けたCTIレーベルのアルバム(ウエス・モンゴメリーの「A Day In The Life」など。)

Q5. お互いの第一印象は。

島田▶ミュージシャンで、こんなにミュージカルをよく知っている人があるんだあ。

島健▶明るくて飾らない人。

Q6. お互いに尊敬しているところは。

島田▶相手が誰でも、いつも変わらずそのままのところ。

島健▶努力家。

Q7. お互いを動物に例えると何ですか?

島田▶まあまあ優しい大トラ。(実際、トラ年です。)

島健▶ウサギ。(ウサギ年でもあるので。…あ、年をばらしてしまっ)

Q8. 本番前のコンディションの整え方を教えてください。

島田▶毎朝の鼻うがいと、寝る前のストレッチ。

島健▶特にありません。

Q9. 前回の宮崎でのコンサートの感想をひとことお願いします。

島田▶昨年、初めてメディキット県民文化センターのステージに立たせていただき、美しく重厚な空間、そして会場いっぱいの温かなお客様との出会い、本当に幸せな時間でした!終演後のサイン会にも沢山の方が参加して下さり感激でした。

島健▶宮崎は、食べ物もお酒も美味しく大好きな場所です。お客様も温かく、昨年、とてもステージを楽しんで下さっているのが伝わってきて気持ちよく演奏できました。

Q10. 今回の公演に向けてコメントをお願いします。

島田▶今回のコンサートのテーマは「秋」。また新たなスペシャルメニューで皆様にお会いできることを心から楽しみにしております!是非お誘い合わせの上、お越してください!!

島健▶今回のトリオのメンバーは、ベースに昨年と同じコモブチキイチロウさん、ドラムスにコモブチさんと同じく渡辺貞夫さんのツアーメンバーでもある石川雅春さん。信頼するメンバーと共に、昨年よりさらに皆様に楽しんでいただけるよう頑張ります!



島健
ピアニスト、作・編曲家、プロデューサー

PickUp お客様の声

前回のコンサートにお越しいただいていた押川博重さんに、改めてその時の感想をお聞きしました!



押川博重さん(小林市在住)

元々、歌が好きで高校も合唱部に所属していましたが、学生の頃にテレビで島田歌穂さんの歌声に出会い、その抜群の歌唱力・個性的な歌声に魅了されました。CDも持っています。今回は、親子でえびの市のミュージカルに参加していることもあり、プロの演奏を肌で感じてもらいたいと、当時小学1年生だった長男と一緒に鑑賞しました。やはり生のライブはいいですね。島田さんの表現豊かな声の魅力、島田さんをはじめ3名の息の合った演奏に大変感動しました。また子どもと一緒にお得な「親子券」で、聴きに行きたいです。

前回公演の様子

| |
|--|
| 公演情報 |
| 島田歌穂with島健ピアノトリオvol.2 ～秋の名曲をあなたに～ |
| 9月19日(月・祝) 開場16:30 開演17:00 |
| 【会場】演劇ホール |
| 【出演】島田歌穂(ヴォーカル) 島健(ピアノ) コモブチキイチロウ(ベース) 石川雅春(ドラム) |
| 【曲目】秋桜、枯葉、学生時代 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。 秋の叙情歌メドレー Fly Me to the Moon ほか あらかじめご了承ください。 |
| 【料金】全席指定 S席4,000円[会員3,600円] A席3,000円[会員2,700円] U25割1,500円※A席のみ 親子割(小・中学生+一般)3,500円※A席のみ |



0歳から劇場デビュー! 小さなお子さまと楽しむコンサート♪ おんがくのおもちゃ箱シリーズ Part.3 『夏休みだよ!全員集合!』



黒木奈津季(ピアノ) 大西映光(ベース) 伊豆謡子(司会)

Message

衛藤 和洋(ドラム)

今回「おんがくのおもちゃ箱シリーズ」に参加できてとても嬉しいです。沢山の子供達の元気と保護者の方の癒しになればと思います。今回は、歌、ピアノ、ベース、ドラムやパーカッションという見慣れた楽器からそうでない楽器まで登場するかも?見慣れた楽器でも「なるほど!」というような小さな発見をしてもらえると嬉しいです。演奏するメンバーは、宮崎県内を中心に活動する演奏家で、様々な場所で、様々なジャンルを演奏することが多いので、会場に来てくれた方のなかには、「どこかで見たことがある?」と思うかもしれませんね。当日のステージでは、「おんがくのおもちゃ箱」という名前の通り、おもちゃ箱のように舞台から、いろんなおんがくで子供から大人まで楽しめる内容を準備しております。聴きに来てくれた方だけが、そのおんがくを体験することができます。興味のある方は是非お越し下さい。

| |
|--|
| 公演情報 |
| おんがくのおもちゃ箱シリーズ Part.3 『夏休みだよ!全員集合!』 |
| 7月30日(土)開場10:30 開演11:00 |
| 【会場】アイザックスターンホール |
| 【料金】全席自由 4歳未満無料 4歳以上500円 なかよしチケット700円 ※4歳以上から大人の2人1組、前売りのみ |

チケット発売!
会員:6月30日(木)
一般:7月7日(木)

9月 17日(土) 開場18:30 開演19:00
18日(日) 開場13:30 開演14:00

演劇ホール

大野城まどかぴあプロデュース公演
『浮足町アンダーグラウンド』

【作】中島かずき(劇団☆新感線)
【演出】内藤裕敬(南河内万歳一座)
【出演】池田成志 ほか14名



池田成志
(大野城出身)

【主催】公益財団法人大野城まどかぴあ
【共催】公益財団法人宮崎県立芸術劇場

全席指定
一般3,000円[会員2,700円]
U25割1,500円

Attention(ご注意)

- ◎記載情報は変更になる場合があります。
- ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増(一部公演除く)になります。

6月25日(土)

開場10:30 開演11:00

アイザックスターンホール

パイプオルガン プロムナード・コンサートvol.151
『オルブラ』～土曜日の朝はオルガンでランチを…～

出演:富田真希(パイプオルガン) 伊豆詠子(司会)
全席自由 一般(4歳以上)500円、なかよしチケット700円(4歳以上2人1組、前売りのみ)

チケット発売中

7月9日(土)

開場14:30 開演15:00

イベントホール

こどもおとな劇場 #1
カンパニーデラシネラ『ロミオとジュリエット』

原作:ウィリアム・シェイクスピア 翻訳:松岡和子 演出:小野寺修二
出演:斉藤悠 崎山莉奈 王下貴司 大庭裕介 藤田桃子 小野寺修二
全席自由 一般2,500円[会員2,200円] U25割1,000円 親子割3,000円 ※4歳から入場可

詳細はP4▶▶▶

チケット発売中

◆小林公演(虹の架け橋事業)

7月10日(日) 開場14:30 開演15:00 会場:小林市文化会館 小ホール
問合せ:小林市文化会館 TEL:0984-23-7400

7月10日(日)

開場13:30 開演14:00

アイザックスターンホール

日高剛ホルンリサイタル 『Hornism』

出演:日高剛(ホルン) 三輪郁(ピアノ) 岡田彩愛(ホルン)
みやざきほるんの会(賛助出演)

全席指定 一般2,500円[会員2,200円] U25割1,000円 親子割3,000円

詳細はP1・2▶▶▶

チケット発売中

7月12日(火)

開場18:15 開演19:00

演劇ホール

マクベス

原作:ウィリアム・シェイクスピア 翻訳:河合祥一郎 構成・演出:野村萬斎
出演:野村萬斎 鈴木砂羽 高田恵篤 福士恵二 小林桂太
共催/MRT宮崎放送

チケット完売

完売御礼

7月30日(土)

開場10:30 開演11:00

アイザックスターンホール

おんがくのおもちゃ箱シリーズ Part.3

夏休みだよ!全員集合!

出演:黒木奈津季(ピアノ) 大西映光(ベース) 衛藤和洋(ドラム) 伊豆詠子(司会)
プログラム:幸せなら手をたたこう おもちゃのチャチャチャ にじ ほか

全席自由 4歳未満無料 4歳以上500円 なかよしチケット700円(4歳以上2人1組、前売りのみ)

詳細はP6▶▶▶

チケット発売中

8月27日(土)

開場18:30 開演19:00

イベントホール

トライアル・シアター 2016

『改訂の巻「秘密の花園」』

作:唐十郎 演出:糸井幸之介(FUKAIPRODUCE羽衣)
出演:一般参加16名

全席自由 一般1,500円[会員1,300円] U25割1,000円

詳細はP3▶▶▶

チケット発売!

会員:7月31日(日)
一般:7月10日(日)

9月10日(土)

開場10:30 開演11:00

アイザックスターンホール

パイプオルガン プロムナード・コンサートvol.152
『オルブラ』～土曜日の朝はオルガンでランチを…～

出演:山田由希子(パイプオルガン) 伊豆詠子(司会)
全席自由 一般(4歳以上)500円 なかよしチケット700円(4歳以上2人1組、前売りのみ)

チケット発売中

9月19日(月・祝)

開場16:30 開演17:00

演劇ホール

島田歌穂with島健ピアノトリオ vol.2 ~秋の名曲をあなたに~

出演:島田歌穂(ヴォーカル) 島健(ピアノ)ほか

全席指定 S席4,000円[会員3,600円] A席3,000円[会員2,700円]
U25割(A席のみ)1,500円 親子割(A席のみ)3,500円

詳細はP5・6▶▶▶

チケット発売中

バックステージ・ツアー 劇場へ行こう2016
劇場体験アドベンチャー
THEATER WARS Episode II
「魔王の逆襲」

参加者募集!

【募集期間】

2016年7/5(火)~7/26(火)必着
(応募多数の場合は抽選)

【対象】小学生から大人まで
※就学前のお子様はご遠慮ください

【募集人数】各回50名

【参加費】1,000円(お一人様料金)

【申込方法】往復ハガキに下記の事項を記入の上、劇場までお申込みください。

- 参加者のお名前(ふりがな必須)・年齢
※保護者の方が同行を希望される場合もご参加扱いになります。
- 連絡先になる方のお名前
※参加者が小中高生の場合、保護者の方のお名前をお書きください。
- 連絡先ご住所
- 連絡先お電話番号
- 参加希望回
※1回目~5回目の中から、第3希望までお選びいただけます。

8/13(土) ①10:30開始 ②14:00開始 ③18:00開始
8/14(日) ①10:30開始 ②14:00開始
各回約2時間

申込先 〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地
メディキット県民文化センター「劇アド」係(担当:舞台技術係 ☎0985-28-0710)

お問合せ

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
Twitter and facebook随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしています。